

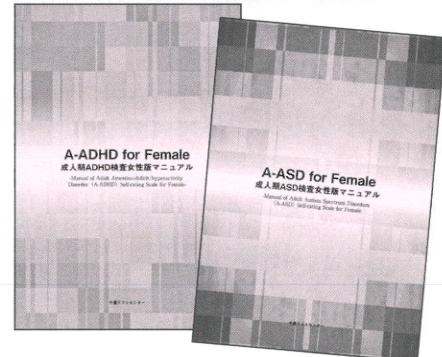


DSM-5 に準拠した
成人期女性のための
発達障害スクリーニング検査!!

成人期 ADHD 検査 女性版

成人期 ASD 検査 女性版

A-ADHD/A-ASD Self-rating Scale for Female



- 言葉による表現方法の違いや対人関係上のコミュニケーション方法の違いなど、男女の性差による発達障害の特性の現れ方の違いに着目。成人期女性の ADHD および ASD をより高い精度でスクリーニングすることを目的とする検査です。
- DSM-5 の診断基準をもとに選ばれた 20 の質問項目から構成。自己記入式。4 件法。
- 前半の 10 項目で男女に共通してみられる ADHD または ASD の特性を評価し、後半の 10 項目で成人期女性にみられやすい ADHD または ASD の特性を評価します。

著者：福西 勇夫（南青山アンティーク通りクリニック院長）

対象年齢：18 歳以上 実施時間：約 10 分

税込価格：マニュアル 各 2,530 円・検査用紙（30 部）各 4,840 円

心理検査専門所 千葉テストセンター

〒167-0022 東京都杉並区下井草 4-20-18
TEL 03(3399)0194 FAX 03(3399)7082



・24 時間受付・商品点数 800 点
・お見積り / お問い合わせフォーム完備

妥当性・信頼性の最も高い心理検査
を日本全国にお届けしております。

マニュアルより抜粋

多くの発達障害の検査は男性向きで、女性に特化したものはほぼない。特に ADHD と ASD は男女の特性の現われ方が異なることがある。治療者側は十分に考慮しないとみえるものがみえにくくなるかもしれない。一般に多くの男性は単純に発達障害の特性を表現するが、女性は本音と建前を使い分ける方が少なからず存在する。女性同士の付き合いは、男性同士ほど単純ではない。そこに発達障害の特性がかぶさり複雑化するのは当然だ。しかも両親の養育態度等の諸要因も関与し、いっそう複雑化する。結果、表出・顕在化されたものを医療従事者、心理職関係者が目の当たりにする。特に発達障害のグレーゾーン、ボーダーラインに位置する場合、診断自体が非常に曖昧になる。また、うつや不安状態に関連した精神症状が主な訴えで診断の際、背景に発達障害圏内の一次障害がある場合はなおさらだ。結果、一次障害である発達障害の特性は性差により、非常にみづらくなる。発達障害は男性に多いと思われているが、女性にも相当数存在するのは心理職関係者であれば感じているだろう。一昔前、精神科などを受診する方はきわめて少なかった。医療者側も可能性を疑うことはほぼなかった。しかし女性にも相当数の ADHD・ASD が存在し、場合によりうつ病、不安障害等の長年誤った治療を受けてきたクライアントもいれば、それら精神疾患が二次障害、または併存も多いとわかってきた。精神医学や心理学は言葉を介すゆえ、男女の違いが言葉、表現にみられるやすい。そうすると、既成の成人期の発達検査、特に質問紙法等で得られるクライアント情報は言葉が主体であるのでなおさらだ。当然にみて、男女の言葉による表現型は非常に温度差がある。そこで成人期女性専用の ADHD・ASD のスクリーニング検査の作成・開発に至った。女性の発達障害の見落としを最小限にするためだ。またすでに見落としているが、治療の経過中に一次障害としての発達障害に関連した特性が潜んでいるのではないかと再確認するためである。

マニュアル目次

【Chapter I】

はじめに—なぜ大人の発達障害のスクリーニング検査の開発が望まれるか？

【Chapter II】

本検査の作成の試みとその信頼性および妥当性の検討

【Chapter III】

女性にみられやすい 10 の質問項目がどのように選択されたのか？

【Chapter IV】

信頼性および妥当性—感度、特異性、全誤区分率の検討

【Chapter V】

本検査の施行と採点

【Chapter VI】

本検査の使用に際する留意点

福西勇夫（ふくにしいさお）

医療法人社団真貴志会南青山アンティーク通りクリニック理事長・院長。1984 年徳島大学医学部卒業後、東京都医学研究機構・東京都精神医学研究所・リエゾン精神医学心身医学研究部門長を経て、2003 年に南青山アンティーク通りクリニックを開院。2000 年から現在までに、米国ボストン市のマサチューセッツ総合病院から客員教授として 9 回招聘される。2007 年には南イリノイ大学の客員教授として招聘。その一方、国内では医学部、薬学部、文学部などの非常勤講師として「精神医学」「精神病理学」「医療心理学」などの教鞭を取る。